

# 平成30年度 春光台中学校改善プラン

Challenge  
Team Work  
Thinking  
Life

## 1 実施期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

## 2 児童生徒の実態

### <学習面>

- 基礎・基本の定着に改善が見られるものの、子どもによって学力の差が見られる。
- 自分の考えを相手にわかるように表現したり、説明する能力が十分ではない。
- 身に付けた知識や技能を活用し、新しい課題を見いだすことが苦手である。
- 一日当たりの家庭学習の時間に課題が見られる（1時間未満の生徒が35%）
- 自分で計画を立てて勉強することが苦手（47%）

### <生活面>

- スマホ・テレビ等の視聴時間など規則正しい生活習慣に課題が見られる。

## 3 目標

### <学習面>

- 学力差の解消を図り、基礎・基本の確実な定着を図る。
- 自ら考え、豊かに表現できる児童生徒を育てる。
- 既習事項を活用し、他と協働し、新たな課題を見つけ、解決する力を育てる。

### <生活面>

- 保護者と学校が連携を深め、家庭学習習慣の定着を図る。
- 自らを律し、他を思いやることのできる心を育てる。

## 4 具体的な改善方策

※それぞれの諸課題について、学力状況調査・学校評価・各種アンケートを有効に活用する。

### <学習面>

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進する。
- 振り返りや発表を重視した教育活動を展開する。
- 放課後の学習サポート体制の継続を図る。
- 全国学力学習状況調査やチャレンジテストを有効に活用する。
- 「学習の決まり」について、全教職員で共通理解を図り、全校で学習規律の徹底を図る。
- 校内研修に取り組み、教師一人ひとりの授業力の向上を図る。  
（特に、校外研修への参加を推進する）
- 学校と地域社会が目標を共有し、生きる力を育む体験活動を推進する。

### <生活面>

- 家庭学習を推進する校内体制を構築する。（家庭学習の手引きの有効的活用等）
- 学級、学年通信、学校だより等による望ましい学習・生活習慣の啓発を行う。

## 5 実施計画

2月～3月 Action (改善)	3月 Plan (計画)	4月～12・1・2月 Do (実行)	1月～2月 Check (評価)
○学校評価, 校内研修 などの評価から新年 度の改善策を立てる	○新年度学校経営計画 ○新年度研修計画 ○新年度教育課程	○改善策を意識した中での教育活 動の展開	☆今年度の評価 (学校評価, 教職員の 自己評価, 学校関係者 評価, 校内研修など)

### <通年での取り組み>

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の推進（研究）
- ・各教科における「振り返る」学習活動の充実（研究）
- ・全教職員のニーズに応えた校内研修の推進（研究）
- ・放課後の学習サポート（教務・地域サポート）
- ・家庭学習定着のためのノート提出の取組（教務・学年）
- ・チャレンジテストの活用（教務）
- ・生活リズムチェックシートの実施（生徒指導）
- ・小中連携アウトメディアの取組（年5回、上川スライド30活用）
- ・体力向上プロジェクトの取組（体育科）

### <1学期の取組>

- ・修学旅行（3学年）、宿泊研修（2学年）
- ・体育祭（保体）
- ・薬物乱用防止教室（生徒指導）
- ・非行防止安全教室（生徒指導）
- ・避難訓練（保体）
- ・フラワーロードの取組（生徒会・地域）
- ・公立高校説明会（3学年）
- ・

### <2学期の取組>

- ・授業公開（研究）
- ・キャリア教育の推進（教務）
- ・携帯電話安全教室
- ・福祉学習体験（3学年）
- ・職場体験学習（2学年）
- ・やどりぎの丘コンサート
- ・コミュニティースクール研修会の実施（教務）
- ・やどりぎ祭（文化）

### <3学期の取組>

- ・冬期休業中の学習サポート（教務）
- ・スキー授業（2回 体育科）

## 6 実施計画

	月	外部アンケート	自己評価	学校関係者評価	
<b>A</b> 改善	3		・重点目標の検討 ・評価項目の検討		
<b>P</b> 計画	4				
	5			・学校関係者評価会議①	
<b>D</b> 実行	5				
	6	体育祭アンケート			
	7		・自己評価実施		
<b>D</b> 実行	8	<児童生徒アンケート> ・項目の検討 <保護者アンケート> ・項目の検討	学校評価年間計画の提案		
	9				
<b>D</b> 実行		学校祭アンケート			
	10	・外部アンケート実施	・自己評価実施		
	11	児童生徒・保護者アンケート，自己評価 集約			
	12			・学校関係者評価会議②	
<b>C</b> 評価	1		改善策の検討		
	2	評価結果の公表（PTA役員・理事会，学校だより，HP）			
<b>A</b> 改善	3				

## 7 評価方法

- ・平成31年度の全国学力学習状況調査において，全国平均以上を目指す。
- ・定期テスト，学力テスト等から検証する。
- ・教職員自己評価・保護者・児童生徒アンケート（学校評価）から検証する。
- ・全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙・学習と生活の実態アンケートの回答から検証する。
- ・学校関係者評価を検証する。（2回）